

歳時記
1

平成24年度 千春会 入社式 開催



フレッシュ
&
パワーアップ

法人役員を囲んで
菊地理事長(中央)
藤原院長(中央右)
寺山部長(中央左)
岡田部長(左端)
山田部長(右端)

晴天に恵まれた4月2日、新入職者として新卒27名(うちリハビリセラピスト7名、管理栄養士2名、介護部13名、管理部2名)、総勢24名の入社式を開催いたしました。
式では、理事長、院長、等の法人役員から法人理念や方向性を含めた挨拶があり、理事長からは「みなさんは、これからの法人を支える大切な柱であることを認識し、目の前の事だけにとらわれるのではなく、これから先の5年、10年、20年という長いスパンで考えて、しっかりと頑張ってください。」との話がありました。その後、法人理念や沿革など新入職員として必要な基礎知識や事務手続きなどを含めたオリエンテーションを実施しました。
青空の下、千春会病院の屋上にて記念撮影を行い、希望にあふれた入社式が無事終了いたしました。これから、多くの事を学んでいく、千春会の新しいメンバーです。
皆さま、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

…地元のみなさんとともに

歳時記
2

地元の食材で「春」満喫
JA 京都中央乙訓支店より
「菜の花」入荷



長岡京で採れた「菜の花」を手に
栄養科 谷中主任(右)
藤原管理栄養士(左)

千春会では、「地産地消」として、季節の食材を病院メニューに取り入れています。



いつでも患者さま、利用者さまに、旬のおいしさや季節感をお届けしたいと、栄養科が心をこめて調理しています。今年も院内食に「菜の花ちらし」「菜の花のお吸い物」を用意し、「春」を感じていただきました。これからも楽しく食事をしていただけるよう、安心・安全の地場野菜を提供してまいります。

編集後記

芽吹きの季節は、力強い新しさに溢れています。
千春会も、新施設として、向日市初の認知症に特化したデイサービスを持つ「介護複合施設 東向日(仮称)」、京都府下初となる新築のサービス付き高齢者住宅を持つ「パティナー文橋」の開設。さらにデイサービスセンター滝ノ町の改修など、活発な動きが増しており、ここにも力強い新たな風を感じます。
千春会は、ただ新しいことを追うのではなく、地域の方々がいつまでも安心して暮らしていただけるよう、「社会の安心」と称される「地域包括ケアシステム」へ繋げてまいります。
皆さまにとって、千春会の新風は、いつも清々しく心地よい風であるように…。(弘)
表紙写真…元・乙訓医師会会長、監事歴任の七岡先生ご提供

患者さまの権利と義務

- 当院では、次に掲げる患者さまの権利を尊重します。
- 1 患者さまは誰でも、良質な医療と良質な看護を公平に受ける権利があります。
 - 2 患者さまは、医療の内容について納得できるまで十分な説明を受ける権利があります(インフォームドコンセント)。
 - 3 患者さまは、他の医療機関の医療者に意見を求める権利があります(セカンドオピニオン)。
 - 4 患者さまは、医師から説明を受けた治療方法など自らの意思で自由に選択し決定する権利があります。
 - 5 患者さまは、ご自分の診療録など診療情報の開示を求める権利があります。
 - 6 患者さまは、個人の情報やプライバシーの保護を受ける権利があります。

また良質な医療と看護を公平に受けていただくために、患者さまに次の義務をお願いしております。

- 1 患者さまご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確にご提供ください。
- 2 十分理解できるまで質問していただき、納得した上で治療をお受けください。
- 3 患者さまおよびご家族の方々は、他の患者さまの治療や職員による医療提供の支障にならないように協力する義務があります。



日本医療機能評価機構認定病院
千春会病院
〒617-0826 京都府長岡京市開田2丁目14-26
TEL (075)954-2175 FAX (075)955-4615

せんしゅん



ISO9001:2008認証取得
日本医療機能評価(Ver.5)認定病院

<http://www.senshunkai.or.jp/>

千春会 検索

発行責任者：菊地 孝三



写真提供：七岡内科医院 七岡 聖魏 先生
長岡天満宮 八条ケ池

理念 (3つの使命)

1. 患者・利用者の自立を支援し、良質な医療・看護・介護を提供する。
2. 仕事に誇りと責任を持ち、社会人としての向上を目指す。
3. 事業の充実により、住民の健康増進と地域社会の発展に寄与する。

基本方針 (5つの志)

1. 優しい心を基本とする。
2. 医療と介護の相互充実を基本とする。
3. 疾病・障害を一体的に把握し、総合的な医療・介護サービスの提供を基本とする。
4. 良好な療養環境の維持並びに向上を目指す看護・介護を基本とする。
5. 互いの立場を理解し、尊重しあう職場づくりを基本とする。

医療法人社団 千春会

新たな芽吹きを感じて



総務部長 山田 彰子

新年度早々、爆弾低気圧による嵐が日本を縦断し、今年は桜の開花も例年より遅く「花冷え」が続きましたが、ようやく新緑が美しい季節をむかえました。

さて、振り返りますと、私が入職した平成11年は、介護保険制度施行を直前に控え、デイケアセンターがオープンした年でした。翌年にはホームヘルプ事業部が開設されましたが、職員数も当時はわずか100名足らずの法人でした。

その後、毎年、新規事業所が開設され、平成17年には千春会病院の増改築、平成22年ハイパーサーミアクリニックの開設、昨年5月に「介護老人保健施設 春風」が開設され、多くの介護事業所が運営されるまでになりました。

また、この10年間の間には、ハードの充実と共にソフトの充実を図るために、理事長の指揮のもと、全職員がベクトルをひとつにあわせ、平成18年4月に「ISO9001」認証を、翌年には「病院機能評価」を認定取得いたしました。ISO 認証取得前は各部署にマニュアルらしきものがあるだけで、すべてのマニュアルを完成させるために各部署責任者は随分苦労いたしました。

今では法人全体にPDCAサイクルが定着し、さらに毎年、認証更新を継続するなど、「より良質」を目指した改善活動が活発に行なわれております。

さて、今年4月には新卒者24名が千春会の一員となり、現在、新入職研修を終えて、はにかみながらもさわやかな笑顔で業務に取り組んでおります。

10年前100名弱だった総職員数は、700名を超え、私の入職時には想像もできない程の人数となりました。

今年度は、高齢化のピークである2025年を見据えての6年ぶりの診療報酬・介護報酬の同時改定となりました。今後は当法人でもさらに、在宅医療の充実を図り、医療と介護の連携を進め、皆さまがいつでも必要な医療・介護サービスが受けられるよう体制を強化してまいります。

飛ぶように過ぎた10年余りでしたが、これからも幅広い事業展開が予測されます。

千春会は、早い動きの中にもありましても、ゆるぎない「法人理念」のもと「医療と介護の連携」を密に、職員一丸となって、しっかりと足元を固めて進んでまいります。

NEWS ニュース

安全祈願祭 平成24年4月11日 吉日

平成24年冬 開設予定 「パティナー一文橋（仮称）」

いちもんぼし

平成24年冬 開設予定の「パティナー一文橋（仮称）」の安全祈願祭が滞りなく執り行われました事をご報告させていただきます。

春の良き日、満開の桜に彩られた「向日神社」にて工事関係者各位ならびに当法人役員が、施設開設に向け安全を祈願いたしました。

すでに、4月17日着工し、10月末竣工の予定となっております。

「パティナー一文橋（仮称）」は、京都府下で初の新築となる「サービス付き高齢者住宅」並びに「デイサービス」「24時間巡回型訪問介護センター」を併せ持つ複合施設となり、皆様が安心して暮らしていただける住まいの提供にも努めてまいります。



ご来賓並びに菊地理事長(右)藤原院長(中央)

東向日 ニュース

平成24年夏 開設予定 向日市初！「認知症対応型 デイサービス」を併設

介護複合施設 東向日（仮称）建設中

「介護複合施設 東向日（仮称）」（延べ床面積 2,169 m²）は、1階にデイサービス、2階ショートステイ、3階は向日市初の「認知症」に特化したデイサービスとなります。

今夏の開設に向け、向日市寺戸町にて工事が着実に進行しており、皆さまのご理解・ご協力の賜と大変感謝しております。

「認知症」の予防や進行遅延への取り組みはもちろんのこと、ショートステイをご利用いただく事で、介護をされるご家族様の負担軽減にも役立てていただければと考えております。また、1階には地域交流スペースを設けるなど、地域の方々の憩いと交流の場としても活用できる身近な施設でありたいと願っております。

来たる、夏の開設に向け、万全の対策で安全を確保すると共に運用内容につきましても一つ一つ、しっかりと進めてまいります。



急ピッチで工事が進む現場

ご報告

さらなる向上を目指し

「病院機能評価 Ver.6」 「ISO9001：2008認証」 ともに認定

千春会では、昨年12月に「病院機能評価」を、本年1月に「ISO 認証」の更新審査を受審しました。

日々の改善努力について、公正な評価を受けるべく更新審査を終え、共に認定となりました。

「より良質な医療・看護・介護の提供」を目指し、真剣に取り組む法人では、このような第三者による評価を受けることで、チェック機能を持たせ、さらなる改善、向上を図るべく「病院機能評価」「ISO 認証」等の第三者評価を積極的に活用しております。

法人職員が一丸となって日々努力を重ねた結果の認定ですが、決して驕る事なく、更新認定を新たな始まりとして、さらなる「質向上」を目指し、より一層の研鑽に務めてまいります。



病院機能評価 Ver.6 認定証



ISO 審査登録証

慶応義塾大学大学院 田中 滋 教授 講演会 開催

4月18日（水）

当法人では、田中 滋教授をお招きして「地域包括ケアシステムと今後の医療・介護」をテーマに、理事長・院長はじめとする主な責任者約40名を対象とした研修を行いました。

慶応義塾大学大学院経営管理研究科で教鞭を取られる教授は、医療・介護業界の政策提言をなされるなど、大変著名な先生です。



講演中の田中 滋 教授

今回は「2012年度医療・介護報酬改定」を中心に、今後の社会保険制度の考え方、医療・介護の現状、将来的な方向性などをご講演いただきました。

その中で「2012年度介護報酬改定」の重要要素である「医療と介護の連携」「機能分担」「地域包括ケアシステム」等について詳細にご説明いただき、医療と介護におけるサービス連携の充実、地域連携パスや看取りの強化、訪問介護、訪問リハビリの在り方等を再確認し、「介護の本質はリハビリである」という点では、改めて法人の方向性との合致を認識する事ができました。

また、「施設サービスの質」についての評価では、例えば「介護老人保健施設」は実際に在宅復帰支援施設として機能しているか、「通所施設」「訪問サービス」なども本来の機能が果たされているか、といった点が明確に評価され、今後はさらに「リハビリ」や「住まい機能」が重要となる旨のお話がありました。



真剣に聴き入る法人責任者

そして、今回の改定が「地域包括ケアシステム構築」へ導くものであるという事も、わかりやすく解説していただきました。

「地域包括ケアシステム」では、ニーズと需要に応じた「住まい」がベースとなり、「医療・介護」だけでなく、「生活支援」が大きく関わる事、システムを支える「自助・互助・共助・公助」という考え方の必要性を含め、例を示してご説明いただきました。

さらに、介護は「お世話」ではなく、全体的な捉え方として「介護も含む高齢者ケア」とすべきとの考え方や今後の医療・介護の組織マネジメントの在り方まで、非常に幅広く大きな視点からご教示いただきました。

現在、当法人には「千春会病院」を中心に「介護老人保健施設 春風」「介護複合施設 上植野」をはじめとする複数の介護事業所があり、関連法人では「特別養護老人ホーム」も有しております。さらに今年度は、住まいの提供として「サービス付き高齢者住宅」の開設も予定しており、「地域包括ケアシステム」に向けた法人の方向性や事業展開において、大変参考になる講演となりました。

最後に田中教授からは「医療・介護分野は、『社会の安心を提供する』ものである」とのお話がありました。

千春会は、高齢化のピークである2025年はもちろん、その先の将来をも視野に入れた事業を発展・継続させることで、皆さまに『社会の安心』を提供してまいりたいと存じます。

さらに充実の医療 新任常勤ドクター 紹介

柔らかな笑顔が素敵な先生をご紹介します。

千春会の顧問でもある海法先生は、長年、厚生省(現・厚生省)の指導医療官として在職され、平成13年には厚生労働大臣表彰を授与されておられます。

小林先生は、医師として、小さなお子さんを持つ1児の母として、充実した多忙な毎日を送っておられます。

< 新任のご挨拶 >

私が「医」を志してから50年になります。50年の間、診療に従事し、教育に関与し、医療行政に携わり、介護も経験してきました。

今も「医師の仕事は何だろうか」と考えることがありますが、「医師の仕事」とは、「患者さんの病気を治してあげるのではなく」「患者さんが自ら、自分の病気を治していくのをお手伝いする事」だと私は考えています。

例えば、どんな名医が手術をしても患者さん本人に治す「力」がなければ、切開創は縫っても塞がりませんし、良い薬を使っても患者さん本人に回復力がなければ効きません。

医師は、これまで培った専門的知識を患者さんにご説明し、ご理解をいただき、医師と患者さんが問題点を共有して「身体の病、心の病」を一緒に解決する事が役目だと考えています。

一方で50年間、今まで悔いのない医療をしてきたかと聞かれると、悔いもあったと思いますが、「もし、患者さんの今おかれている状態が自分なら、どうして欲しいか。」「自分の親、妻、子どもだったらどうするか」と懸命に考え、その時の持てる力の全力を尽くして、治療してきたと自負しています。

「医」を志して50年過ぎても「より良い医療」を行うためには、「現状に甘んずることなく、日々努力、前進、向上あるのみ」と精進しております。

これからも、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



泌尿器科：海法 裕男

《プロフィール》

<略歴>	
昭和41年	東北大学医学部 卒業
昭和46年	東北大学大学院博士課程卒業
昭和53年～	社会保険京都病院 泌尿器科部長 京都府立医科大学客員講師
平成2年～	厚生省京都社会保険事務局 保健課指導医療官 京都府社会保険診療報酬 支払基金-国民健康保険団体 連合会審査担当
平成13年	愛知県社会保険診療報酬 支払基金全日専任審査員
平成20年	千春会顧問就任
<専門>	泌尿器科

< 新任のご挨拶 >

平成24年4月1日より、千春会病院にて勤務させていただく事になりました小林雅子と申します。

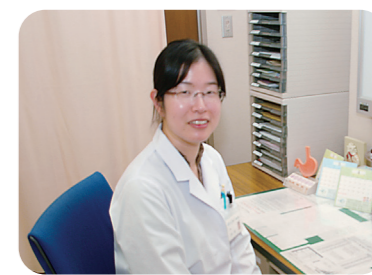
平成19年に奈良県立医科大学を卒業し、奈良医科大で初期臨床研修を行った後は、奈良県立医科大学総合診療科に所属し、大学病院や一般病院等で内科診療を行ってまいりました。

常に、病気を診るだけでなく、心のケアや介護等も視野に入れた「全人的な医療」を心がけております。また、プライベートでは、1児の母となったことで医療にも深みを増した感がいたします。

今後は、千春会病院内での診療だけにとどまらず、訪問診療にも携わることで、より患者さまの生活に密着した医療を行っていきたくと考えております。

また、女性の方で、男性医師には相談しづらいと思われた際など、お気軽にご相談いただければと思います。

今後は、千春会病院の一員として、地域の皆さまのお役に立てますよう努めてまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



内科：小林 雅子

《プロフィール》

<略歴>	
平成19年	奈良県立医科大学 卒業
平成21年	奈良県立医科大学 総合診療科
<専門>	一般内科